

いばらきネットモニター 地元イチオシの地域資源等に関するアンケート

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和元年5月22日（水）から令和元年6月3日（月）まで

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

いばらきネットモニター数：499名（県内モニターのみ）

回収率：44.3%（回収数221名）

回答者の属性（百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある）

		人数（人）	比率（%）
全体		221	100.0
性別	男性	111	50.2
	女性	110	49.8
地域別	県北	24	10.9
	県央	79	35.7
	鹿行	14	6.3
	県南	77	34.8
	県西	27	12.2
年齢別	10歳代	0	0.0
	20歳代	3	1.4
	30歳代	31	14.0
	40歳代	58	26.2
	50歳代	62	28.1
	60歳代	34	15.4
	70歳以上	33	14.9
職業別	自営業	21	9.5
	会社員	68	30.8
	団体職員	4	1.8
	公務員	4	1.8
	主婦・主夫	57	25.8
	学生	3	1.4
	無職	43	19.5
	その他	21	9.5

(2) 調査の目的

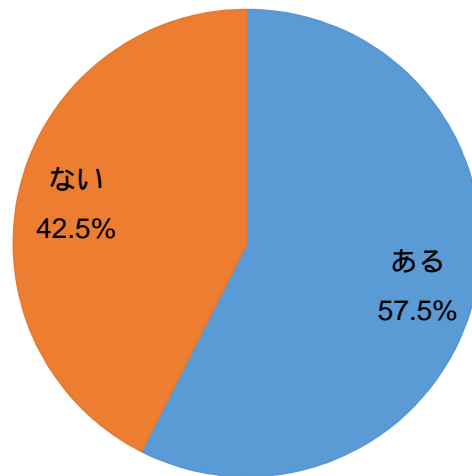
この調査は、県民の皆様にご地元の隠れた地域資源をお答えいただき、県としてPRできる新たな観光資源を発掘することを目的として行いました。

【担当課】 茨城県営業戦略部観光物産課（宣伝誘客担当）

電話：029-301-3622 E-mail：kanbutsu2@pref.ibaraki.lg.jp

2 調査結果と考察

【問1】茨城県内で、あまり有名ではないが、あなたがぜひ自慢したい観光地やグルメ、お土産、イベントなどがありますか。次の中から、あてはまるものを一つ選んでください。



「ある」が57.5%で、約6割が「茨城県内で、あまり有名ではないが、ぜひ自慢したい観光地やグルメ、お土産、イベントがある」と回答している。

【問2】(問1で「1 ある」と答えた方にお伺いします。)具体的な名前や特徴、自慢したい理由を教えてください。(複数回答可、200字以内)

回答数127件

「場所」に関するもの

- ・大甕 泉神社(日立市)
- ・静神社と八重桜(那珂市)
- ・姥の懐マリンプール(ひたちなか市)
- ・大太郎坊(水戸市)
- ・予科練平和記念館(阿見町)
- ・逆井城(坂東市) など

「食品・食事処」に関するもの

- ・わたひきのいちご大福(日立市)
- ・鮎料理(大子町)
- ・ヒラメ(北茨城市)
- ・海老、タコ、ハマグリ(鹿嶋市)
- ・甘太郎焼き(鹿嶋市)
- ・牛久沼のうなぎ(牛久市)
- ・酒寄地区みかん園(桜川市) など

「イベント」に関するもの

- ・十二所神社の百段階ひな祭り(大子町)
- ・ごじゃっぺ音楽祭(ひたちなか市)
- ・つつじ祭り(笠間市)
- ・将門まつり(坂東市)
- ・紫陽花まつり(下妻市)
- ・流鏝馬神事(下妻市) など

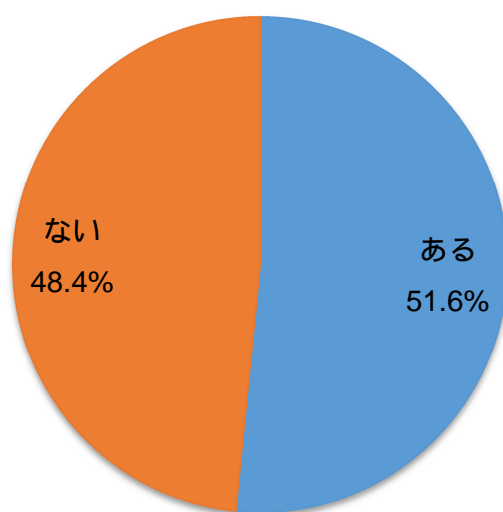
「風景」に関するもの

- ・ 日立市の桜（日立市）
- ・ S Lからの風景（筑西市）
- ・ 桜川市真壁地区や結城市の街並み（桜川市，結城市） など

「その他」

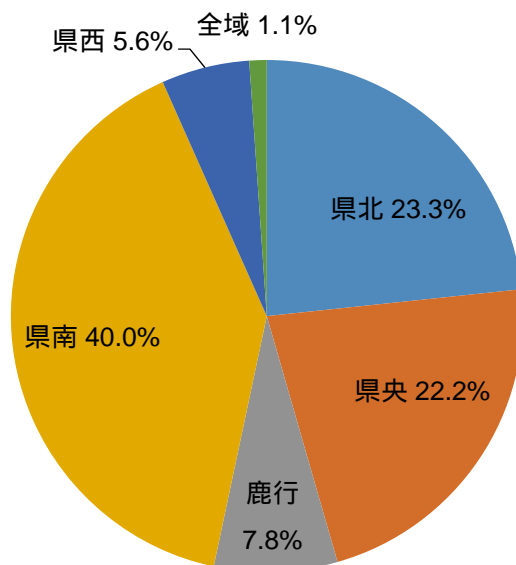
- ・ 好文亭にある最古のエレベーター（水戸市）
- ・ 関鉄竜ヶ崎線（龍ヶ崎市）
- ・ 酒蔵の歴史（全域）
- ・ 沢山の神社を中心としたライトトレッキング（全域） など

【問3】茨城県内で、あなたがぜひ海外向けに自慢したい、日本ならではの絶景（例：筑波山を後方に臨む田園風景等）が見られる場所がありますか。次の中から、あてはまるものを一つ選んでください。



「ある」が51.6%で、5割を超えて「茨城県内で、ぜひ海外向けに自慢したい、日本ならではの絶景が見られる場所がある」と回答している。

【問4】(問3で「1 ある」と答えた方にお伺いします。)具体的な場所と特徴を教えてください。(複数回答可，200字以内)



茨城県内で、ぜひ海外向けに自慢したい、日本ならではの絶景が見られる場所の回答を地域別に分類すると、「県南」が40.0%と全体の4割を占め、次いで、「県北」23.3%、「県央」22.2%、「鹿行」7.8%、「県西」5.6%、「全域」1.1%となった。

回答数 114件

県北地域

- ・北茨城市五浦の美術館、六角堂を含む自然と美術創作（北茨城市）
- ・凍った袋田の滝（太子町）
- ・竜神大吊橋の鯉のぼり（常陸太田市）
- ・御岩神社（日立市）

など

県央地域

- ・大洗磯前神社の鳥居（大洗町）
- ・笠間市の陶芸関連施設（笠間市）
- ・ひたち海浜公園のネモフィラ、コキア（ひたちなか市）
- ・偕楽園からの千波湖の景観（水戸市）

など

鹿行地域

- ・潮来の嫁入り舟（潮来市）
- ・鹿島神宮（鹿嶋市）
- ・工場の夜景（神栖市）
- ・「白帆の湯」の夕焼け（行方市）

など

県南地域

- ・広がる田園の先に見える夕日の中の富士山（稲敷市）
- ・JR常磐線高浜駅から見る筑波山（石岡市）
- ・牛久大仏（牛久市）
- ・ダイヤモンド筑波山（つくば市）

など

県西地域

- ・砂沼（下妻市）
- ・福岡堰の桜並木（常総市）
- ・結城市から見る筑波山（結城市）
- ・白菜畑から見る冬の富士山（八千代町）

など

【問5】茨城県内の観光地やお店、グルメ、お土産、風景、イベントなど茨城県内の観光に関する思い出を教えてください。(250字以内)

回答数 163件

主な内容

直売所の新鮮で多種豊富な野菜に驚き、ちょっとした公園(大小あるが基本は木陰がある公園)でのランチ
茨城県フラワーパークのバラ祭りがとても綺麗だったので、その時に購入したバラの苗が7年ぐらいたった今も綺麗な花を咲かせています
子どもが小学生の時、春の遠足は、全校児童全員で、学校から徒歩で、楞厳寺(りょうごんじ)と仏頂山(ぶつちょうざん)に行きました。縦割り班といって、各学年2人ずつ、1年生から6年生までの混合班を作り、上級生は下級生の面倒を見ながら歩いて行きました。仏頂山は、急な山道が有り、大人でも大変ですが、山頂に着いた時の達成感は、いつまでも思い出に残ると思います。同行したボランティアの人から、サプライズで飴をもらい大喜び。その小学校は統廃合で今はありません。最後の年までボランティアで参加出来てありがたかったです。
先日竜神大吊橋の鯉のぼりを見に行ったのですが、1時間のハイキングコースがあるのを知り挑戦しました。橋を渡りダム湖脇の林道まで下ります。竜神大吊橋を真上に見ながら歩き、ダムを渡ります。ここから上りとなりますが、最後の10分がキツイ。でも歩き終わった後は、清々しい気分になります。竜神大吊橋から車で少し下った所に、水府農産物直売所があり、ここに併設されている竜神そばの郷のおそばは絶品です。普通のおそばより色が黒く、歯ごたえもあり、とても美味しかったです。
日立駅から見える、海の上にかかるバイパスは見ているだけでワクワクするし、実際に走ってみると駐車場もあるので、景色を眺めることもできて楽しい。
毎年6月中旬から始まる、つくば市百家のブルーベリー摘みを楽しみにしています。とても大きく甘い粒で、スーパーの冷凍ものとは全然違って初めて食べた時は感動しました。
竜神峡の鯉のぼりは高さがあるので迫力を感じる。那珂湊の魚市場で食べるお寿司は肩ひじ張らずに楽しめる。大子のプールは山を近くに感じるのあまりないかも。
笠間のそば稲荷はさっぱりしていてとてもおいしいです。
会社の会議を水戸開催時、懇親会のお店に茨城らしいものリクエストしたが、納豆料理5品かなりうけた。
北茨城市花園神社で行われている(毎年5月5日こどもの日)PM12時ごろ「ささら踊り」12~3歳の男子が鳥の羽のような、出で立ちで大人の笛や太鼓で舞い踊る。神輿の、檜の枝葉を記念に持ち帰ることができる。
毎年11月に行われる坂東市の将門まつりは2時間しかお囃子や山車を披露する時間がありませんが、私の所属している東横連では観てくれる人たちのために毎年少しずつ変化させた将門やお姫様、家来などの人形を飾り付けて山車の行列が華やかになるように2か月前から準備しています。また毎年7月に行われるな夏まつりでも神田囃子を披露しています。年齢層は70歳代から50歳代ですがお囃子が始まると息もぴったりでとても楽しい活動です。
結城市の武者行列に参加して面白かったです。以来結城家の歴史に興味がわきました。
水戸の梅まつりと黄門祭りは、あらためて水戸に住んでいることを意識させる。

鮭の遡上の南限と言われる那珂川の秋の鮭の遡上の魚影と稲のおだ掛けの風物詩。東京在住の際には、茨城県の秋に家族でその光景を見に来るのが楽しみでした。

涸沼の松川から見る、筑波山頂へ沈む夕日。
春分と秋分の日にはしか見れない景色で有り、その景色を写真に撮るために通いました。
雨降りや曇りでは筑波山が見えなくなり、写真は撮れません。
何度も通いました。

若い頃に満月の夜に大洗海岸に出かけた時の、満月と海のコントラストが印象に残っています。

まだ都内から引っ越してきたばかりですが、霞ヶ浦がやはりきれいです。近くには野生のキジやウサギがいて、大変驚きました。自然を残しつつ、観光地としても発展してもらいたいです。

水郡線下野宮駅より久慈川に掛かる鉄橋を走る、ディーゼル機関車は圧巻のカメラポイント。

ひたちの大煙突とたなびく煙が雄大で思い出に残る景色です。

「土浦市内・つくば市内の桜見」
35年前に転勤により土浦市民になりました。
当時から毎年桜の季節には、満開の桜を探し続け、楽しんでいます。1日では足りません。
真鍋小学校、自衛隊武器学校、農林省研究団地、NASDA等